

多用途支援艦「えんしゅう」特別公開



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、2月26日（日）、熱海港で実施された多用途支援艦「えんしゅう」の特別公開に学生を招待した。

静岡地本三島募集案内所からは、中学生2名と大学生1名が参加し、艦橋や輸送・補給・訓練支援を任務とする多用途支援艦ならではの装備品、らっぱ吹奏等を見学するとともに、港内でゴムボートの体験乗艇を行い、海上自衛隊の魅力を存分に体験した。

午後は、若手幹部とベテラン海曹との懇談を実施し、実際に働いている隊員から経験談や仕事の魅力を聞いた学生たちは、自衛隊で働く自らの将来を具体的に思い描いているようだった。

参加した学生は「海上自衛隊の幹部候補生を受けたいと思っていますので、実際に幹部の方の話を聞くことができて大変参考になった」と感想を話していた。

自衛隊静岡地本は、今後も学生が自衛隊と接する機会を積極的に設け、正しく自衛隊という職業を理解してもらうとともに、熱意ある志望者の獲得に邁進していく。

今春入隊予定者に対し説明会を実施



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、2月27日（月）、静岡県護国神社直会殿（静岡市）において、「自衛官候補生入隊予定者説明会」を実施した。

これは、自衛官候補生の今春入隊予定者に対して入隊に際し必要な事項を説明するとともに、入隊後の自衛官の生活について理解を深めてもらい不安感を軽減することを目的に実施し、県内各地から41名が参加した。

説明会は、着隊に必要な共通項目を説明した後、陸上・海上・航空自衛官及び女性自衛官予定者ごとのグループに分かれ、地本で勤務しているベテラン現役自衛官から入隊後の教育隊の様子等について説明を行った。

参加した入隊予定者は「入隊に向けた準備の参考になった」等と話し、入隊への決意を新たにされた様子であった。

静岡地本は、今後も自衛隊という未知の世界に一步踏み出そうとする熱意ある入隊予定者に対して、万全の態勢で入隊できるよう、様々な場面できめ細やかなサポートを続けていく。